

所弓便

第13号

所沢市弓道連盟会員 254名

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

4月30日現在の会員数は254名です。

新会員

25年11月以降新たに入会された会員、皆さんよろしくお祈いします。

澤野峻介 飯尾 弘 村上尚美 奥村紘美
加田奈海 島崎恭徳 鈴木波流 本多由佳

昇段・昇格

平成25年12月1日以降26年4月末まで
昇段おめでとうございます。

二段 岡田成広 柚山博文 小寺芽衣
初段 山口信一 瀧島広子 池内健治 國友大裕
松村峰裕

平成25年度所沢市体育協会賞

次の方々の受賞がありました。おめでとうございます。
表彰式は3月1日市民体育館サブアリーナにて行われました。

所沢市体育協会功労賞

海老名 玄

所沢市体育協会優秀選手賞

藤田 良 下田 徹 粕谷吉一 永島英男
澤田靖子 鈴木流渚 横山海友 栗原大智
吉田万里映

所沢市体育協会優秀団体賞

所弓連G 中村徳海 澤田靖子 下田 徹
所弓連B 藤田 良 水口 清 星川三樹男
所弓連 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男
少A 林 雅茂 末廣侑也 奥泉優斗
少E 渡邊乃恵 鈴木流渚 長谷川栞
少D 横山海友 伊藤 楓 栗原大智

部長会・理事会・総会

1月12日

第4回部長会：25年度第3回理事会について

1月26日

第3回理事会（参加29名）：各種報告事項

3月1日

第5回部長会：理事会及び総会資料の検討

3月8日

第4回理事会（参加28名）：総会資料の検討

3月23日

26年定時総会（出席55名（委任状94名））

来賓者

所沢市弓道連盟顧問 所沢市議会議員

秋田 孝様

所沢市弓道連盟顧問

並木正芳様

所沢市弓道連盟名誉会長 熊野神社宮司

三上嘉徳様

*祝電 所沢市弓道連盟顧問 所沢市長

藤本正人様

冒頭の新会長挨拶

今年度から3月に総会を開催することとした。
このことで会計をはじめとして種々ご苦労をおかけした。今総会の議案は、3月8日の理事会で賛同を得たもので理事会案として提出する。出席の会員には慎重審議願いたい。

∞ 投 稿 ∞

議事内容

草賀相談役が議長として選出され、円滑な議事進行によって全議案とも報告・提案どおり承認・決議された。

なお、会長より「全弓連分担金に関する件」について下記説明があった。

- ・26年度より全弓連に埼弓連会員一人当たり1千円の分担金を納付するが、26年度は埼弓連会計の負担で納める。

- ・27年度分からの分担金については、埼弓連で検討中。

以上

新年会（1月19日）

(来賓)

藤本正人所沢市長 内藤隆行所沢市教育長
岡田しずか所沢市議会副議長 秋田 孝所沢市議会議員
並木正芳所弓連顧問 三上嘉徳熊野神社宮司
三上廣司熊野神社氏子会会長

市弓道場メンテナンス

12月22日

大掃除 参加者：市弓道場 41名+球[♯]少16名
市武道館 29名



大掃除にあわせて安土の整備（市弓道場）

1月20日

巻藁2個購入

三年間弓道をしてきて

福田 秦平

私は高校入学と同時に弓道を始めて今日までの約三年間、弓道についてはもちろん、礼儀作法などこれから先の人生で必ず役に立つことを道場の先生方からユーモアを交えた説明でわかりやすく教えていただきました。中には、学校では教えてもらえないようなことも多々あったような気がしますが・・・。とても勉強になりました。

当初弓道を始めたきっかけは漠然としたもので不安もありましたが、今は始めて良かったと思っています。稽古では精神力や忍耐力を鍛え、射会や審査では普段味わえないような緊張感を味わい、道場では色々な先輩方に出会うことができました。

また、お祭りで御神輿を担がせてもらうなど弓道以外でも貴重な体験をさせていただきました。このことは弓道を始めなければ得ることが出来なかったことだと思います。

もし三年前に弓道に出会っていなかったら、何の目標も持たずにただ学校に行くだけの単調でつまらない生活を送っていたかもしれません。また、真冬の道場の床の刺すような冷たさや審査で不合格だった時の悔しさなどを経験することなく、社会に対して甘い考えのままでいたかもしれません。そのような意味でも道場で色々な経験『修行』ができてよかったです。

弓道を通して得たものや体験したことは、これから先の人生で必ず自分自身の支えになると思います。

昇段感想文

杉崎竜也

私は弓道を始めてよ良かったと思うことが2つあります。まず一つは多くの人と交流を持てたことです。弓道を始めるにあたって市営の道場に通り、いろいろな年齢の人、段位や称号を持っている人にご指導いただき、弓道を通じて話をするのが

出来るようになったことはすごく良い経験になりました。

もう一つは審査を受けるにあたっての向上心が付いた事です。始めた当初は目標を持って始めた訳ではありませんでした。ですが審査を受けることになり弓道について勉強をしていて段位や称号など、目標になるものが多いことを知り、私自身も興味を持ち、もっと上達していろいろなことに挑戦したいと思うようになりました。

審査当日、ものすごく緊張しながら家を出たのを覚えています。会場について自分の立順を見た時にもものすごく気合が入って集中していました。ですが射場に立つ前は緊張で足が震えて頭の中にいろいろなことがよぎってしまい、いつのまにか射場に立っていました。緊張のせいで自分がどんな射をしたのかも覚えていません。それでも日頃から気を付けて練習をしていたおかげか大きなミスも無く終わることが出来ました。毎日の練習がちゃんと身につけていたのでよかったです。これからも精進していきたいと思えます。

【指導部】

定期講習会

平成25年9月から平成26年3月末までの講習会受講者数

橋田教室 (毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 78名

土曜講習会 (草賀 淳先生) (毎月第2土曜日)

受講者延 93名

水曜講習会 (見原重信先生) (毎月第4水曜日)

受講者延 105名

(注) 草賀先生が橋田教室の代行をされていることから土曜講習は当分の間休会となります。

寒稽古

1月5日～9日 (5日間)

市弓道場 延76名

市武道館 延49名

初心者弓道教室

初心者弓道教室 (6月1日～6月29日) の卒業生を対象に前期 (7月～9月) と後期 (10月～12月) の各週土曜日午後事後指導を実施した。

【競技部 (スポーツ少年団含む)】

《所弓連主催射会》

納射会 (12月15日) (参加88名 武道館)

《団体戦》

1位 巳未 小林孝則 長谷川栞 篠原一郎
2位 卯A 関口研二 元田郁男 平山夏子
3位 亥 渡部知実 松村峰裕 山口正彦
3位 戌A 杉山久美子 甲斐健太 下田 徹

《個人戦》

1位 下田 徹 2位 小林孝則 3位 飯野良平
4位 廣瀬雅孝 5位 中村徳海

元旦百射会 (12月～1月1日)

参加総数20名 百射修了者16名

1位 下田 徹 90中 2位 粕谷吉一 75中
3位 関口二郎 73中 4位 星川三樹男 67中
5位 中村徳海 60中 6位 黒木智哉 52中
7位 中村康代 49中 8位 元田郁男 47中
9位 小林康則 42中 10位 三好啓子 40中

初射会 (1月19日)

参加78名+少11名

《金的賞》

天位 水口 清 地位 鈴木流渚 人位 廣瀬雅孝
賞 元田郁夫 中西誠一

《扇的賞》

天位 岩村優子 地位 奥富季乃 人位 小林康則
賞 小山和枝 宮嶋重明



初射会で会員の行射を見る藤本所沢市長
はじめ来賓の方々

武道祭 (2月2日)

今年から弓道連盟の演武は2階の弓道場で実施することになった。

・少16人の練習状況紹介並びに小学生5人の立射による一手行射及び中学生5人の坐射による一手行射

・男性3人の一つの射礼 (紋付と縞袴)

飯島稔凱 甲斐久歳 篠原一郎

・女性5人の持的謝礼 (明るい色の着物と黒袴)、
松寄恭子 石川淳子 三好啓子 増田裕子
平山夏子

月例射会 (3月9日)

(近的51名、遠的20名参加 市弓道場)

《遠的》

1位 藤田 良 2位 上橋 宏 3位 篠原一郎

4位 三好啓子 5位 藤原敬一

《近的》

(2段以下)

1位 福田泰平 2位 杉崎竜也 3位 小室日向子

(3・4段)

1位 廣瀬雅孝 2位 中村徳海 3位 中村康代

(5段以上)

1位 藤原敬一 2位 奥富季乃 3位 松寄恭子

♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

三年前の春先に、身体は比較的がっしりしているもののまだまだ小さく、返事をする声もまた細いイガグリ頭の高校1年生が入会しました。

興味津々の大人達の「お兄ちゃんは何故弓道をしにきたの」の問いかけに、「高校の部活では書道部に入部しましたが、兄が武道をしていて自分も武道をしたいと考え、関心があった弓道を始めようと思いました」と実に素直なもの百戦錬磨の大人達も半畳の入れようありません。

道場では誠に素直に先生の話聞き、一生懸命に練習をして弓道式段を認許されましたが、指導師範のお話では「実力は三段の一步前」と評されるまでになりました。

その彼が三年後には、足の文数も30センチ近くなり身の丈も180センチほどになりました。胸板も厚くなり名門出羽の海部屋から要請があってもおかしくない身体つきにまで成長したものです・

なにより、子を持つご婦人からは「あなたみたいな息子を持ったお母さんが羨ましい」と齊しく云わせしめる性格は、身体以上に大きくかつ深く広がりました。

今春、彼は船員になるための勉強に、所沢を離れ遠くの県へ旅立って行きました。

残念ながら、もう矢取り道用のサンダルの緒が頻繁に壊れることもなくなるだろうし、それを肴に彼の事を話すことも少なくなるでしょう。

道場の脇を流れる東川沿いの桜の木には惜別の情がある。いつもより多くの花びらを川面に漂わせてくれ、そのことが道場の人達の心を僅かに慰めてくれています。

Mr. KaTaBaMi

《対外競技会》

埼玉県武道弓道大会(11月24日) 県武

中学生の部 個人 3位 長谷川 栞
一般男子の部個人 3位 下田 徹

西部支部納射会(12月8日)

(参加35名 武道館)

(3段以下)

1位 元田郁男

(4・5段)

1位 中村徳海 3位 奥富季乃

(称号者)

3位 下田 徹

(総合優勝)

中村徳海

埼玉連新年初射会(1月5日)(参加21名 県武)

入賞者なし

西部支部初射会(1月11日)(参加42名 武道館)

1位 藤原敬一 2位 中村徳海 3位 中村康代

4位 竹下正博

西部支部総会射会(3月2日)(参加24名 武道館)

5位 粕谷吉一

神奈川県・埼玉県弓道指導者親善射会(3月16日)

(参加2名 県武)

入賞者なし

秩父神社奉納第56回埼玉県下武道(弓道)大会

(4月29日)(参加、少15名、一般48名、
秩父第一弓道場)

中学生の部団体

5位所沢少E甲斐健太 黒子暁和 青山恭子

中学生の部個人2位

渡邊乃恵

一般の部団体

優勝 所弓連C 澤田靖子 中村徳海 下田 徹

5位 所弓連F 粕谷吉一 篠原一郎 永島英男

一般の部個人

5位 中村徳海

第21回入間市近隣親善弓道大会(5月5日)

(参加45名 入間市武道館弓道場)

団体 3位中村徳海 竹下 眸 下田 徹

個人 4位中村徳海 6位下田 徹 7位黒木智哉

9位中村康代

【スポーツ少年団】

(*スポーツ少年団の記事は、一部重掲、各種射
会記録は競技部にも掲載しています。)

所弓連納射会(12月15日 参加13名 武道館)

少納射会(12月21日 参加16名 武道館)

道場大掃除(12月22日 参加16名 市弓道場)

所弓連初射会(1月19日 参加11名 市弓道場)

武道祭(2月2日 参加16名 市武道館)

所弓連月例射会(3月9日 参加9名 市弓道場)

少卒団祝射会(3月22日 参加30名内12名

卒団 市弓道場)

∞ 投 稿 (の2) ∞

六段審査を受審して

松寄 昇

昨年9月15日関東地区臨時中央審査(宇都宮)
にて、六段審査に合格いたしました。

当日は、前日からの台風の中、暴風、大雨の中、
審査会場へと向かいました。

午前中は、学科審査、皆さん雨の中での移動で
大変でした。午後は、信じられない程の台風一過

の晴天になり、真夏が戻ってきたような暑い午後となりました。

午後の最後の立ち順となり、控え室で待っていたところ、今、目の前にあったはずの弓が見当たりません。私の弓と同じ様な握り皮の弓がありました。取り違えられてしまったようで、探しました。弓巻きを巻かれてしまうと分からなくなってしまいます。しかし見あたりません、控えに呼ばれる直前に、弓が戻ってきました。道具の取り違えなど考えられない段位ではとも思いました。

その出来事をいつまでも引きずらないように、控えについてからは、弓を引く事に集中しました。立ち順は、大前で私の前で、途中休憩となり気持ちを落ち着かせるよい時間ができました。

大前での良いところは、自分の間合いで弓が引け、審査員の先生方に良く見てもらえるところだろうと思います。大前の時は、いつもそのように考えます。チャンス到来です。当然緊張はします。しかし、上がることはないように思います。

今、できる事をやろう。大分、緊張していたのでしょうか、暑さも忘れ、汗だくであることも感じずに行射しました。退場すると、着物がびしょよりでした。

私の日ごろの練習は、夜7時半以降の1時間程度で毎日ではありません。矢数も少なくなるので、1本1本を大切に練習する事しかありませんでした。

「その日の最初の一手を必ず、中るようにする。」そんな練習をしました。

終わりに、練習の出来る環境とご指導戴いた先生方、一緒に練習に励んでいる弓友の方々に感謝いたします。

皆様に支えられて…

山本雅子

昨年9月8日、雨の宇都宮にて五段に合格いたしました。根気強くご指導下さった先生方と稽古にお付き合い下さった仲間の皆様に頂いた合格です。本当にありがとうございました。

四段に合格したのが平成9年4月。それから審査を受けることもなくのんびり過ごしてきました。それが、先生や周りの方々が審査に向けて稽古に打ち込む姿がとても眩しく見え、自分も頑張らなくてはと思いついて受審を決意。五段に挑戦して4回目での合格でした。

今回は審査が近づいた3週間程前から、まったく矢が飛ばずの前で失速、何をどうしてよいのか焦るばかりの状態が続きました。弓を引くのが辛くなり「審査なんて、何で申し込んでしまったのだろう…。五段を受けるなんて自分には早かったのではないか」「今日は道場に行くのをやめようかな」等々、何度気持ちが折れそうになったことか。

そんな私があきらめずに審査に臨めたのは、ご指導下さった先生方と弓友の皆様のお蔭です。「先生が道場で待っている。遅くまで稽古に付き合ってくれる仲間がいる。」そう考えると、また道場に向かうことができました。技術的なご指導は勿論のこと、精神的にも本当に支えて頂きました。更に当日、遠く宇都宮まで雨の中を応援に駆けつけて下さったのです。そうして、合格の結果発表に涙、涙…。来て下さっていた先生方も一緒に涙。電話で報告した先生からは「(泣いていて)何を話しているのかわからなかったよ」と言われてしまいました。

そして現在、昇段したからといって急に弓が上手くなる訳ではなし、先生には同じことを注意され課題の多い毎日です。それでも、審査を目指す前の自分と審査に挑戦して稽古をしてきた今の自分では、道場に向かう気持ちが違うように思います。

続けることも上達することも一人ではできません。先生方はじめ弓の仲間、そしていつでも稽古ができる環境にとご尽力下さっている弓道連盟の皆様のおかげでこそ続けられる弓道です。皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これからも稽古を続けていきたいと思えます。

式段合格

林 義照

ありがとうございます、平成25年11月10日の第5回地方審査熊谷運動公園弓道場にて式段に昇段することができました。

諸先生、先輩の皆様には平成23年9月の初心者教室から心温まるご指導いただき言葉には言い表せない感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の式段審査は2回目で合格、最初は秩父で受審するも、落ちで爆弾を抱えた左膝に激痛がはしり何とか跪坐しやっと立つことができても射にならず、しかも4番の人が立射、また私と同様でっかい前方視界ゼロ、ギブアップ自分の不甲斐なさにガックリ。

審査が終わって同年代の立射の人から「もうそんなに無理することないよ」と言われ なるほどと思い、熊谷の申し込み時に通院していた病院から診断書をいただき新家会長、星川さんに無理にお願いし立射の許可をいただき今回受審することになりました。

猶予は約1ヶ月立射の体配は坐射の人との息合いが難しく、何度も練習しましたが課題を残しつつ当日となりました。

なんと初めての太前、控えから見える先生がたの首の長いこと目の前だからそんなに伸ばさなくても、緊張は高まりいよいよそのとき「15分の休憩」を告げられガックリ、しかしその休憩が我をとり戻す時間となり、入場から礼し3歩3歩で本座に進む、ここまでは順調？

射位に進むその時2番の人と息合わず遅れ”しまった” 弓構えで取り掛けの時先生方の鉛筆を持った手が見え動いてる、案の定甲矢は記憶になく 本座に後退し取り矢を持ちかえたとき我にかえり 心をしずめ乙矢は冷静に足踏み、胴造り、弓構え、打起し、引分けから会 ”南無観世音菩薩・” 離れ、パーン・残心 弓倒し 退場。

筆記については、近所の中学校の教室で子供のころを思い出しながら落ち着いて書くことができました、時間も早く終わったので学校の黒板にふ

と目を向けると

「広野の花のように」 宮澤章二

だれの胸の内にも 恵まれているはずの

思いやりのある心は 海のように豊かだから

ほんの少しの気配りであつてもいいのだ ……

省略「行為の意味より」

審査が終わった後なのかもしれませんが、久しぶりに感動しました。

かなりの「頑固者」ですがまだまだ道は遠く、頑張りますのでさらに粘り強いご指導よろしくお願ひ致します。

初段合格顛末記

中西誠一

昨年9月29日の秩父における1回目の初段審査では、見事に不合格でした。初段は比較的簡単に合格するという先輩の話を聞いていただけに少しショックでした。体配を初め何もできていなかったのだと思います。

すぐに11月10日の熊谷における審査を申し込みました。次回審査まで期間が短いのが少し心配でしたが、この間諸先生、先輩から親身なご指導をいただきました。それだけにまた不合格だったらご指導いただいた方々に合わせる顔がないし、申込書に指導者として名前を書かせていただいた先生の面子もつぶしてしまうし、私なりに結構なプレッシャーを感じました。また「初段審査を3回落ちたら所弓連の新記録でギネスに載るよ」などと別なプレッシャーをかけていただける立派な先輩もいたりして、会社生活でもあまりなかった緊張のなかでの2か月間でした。

審査前日はちょうど土曜講習の日で仕上げのご指導を仰ぎました。

「明日の審査頑張ってください。」「合格饅頭期待してるよ！」(饅頭にアクセントがあったよう気が少ししましたが) とかありがたい激励をいただき道場を後にしました。

審査当日、熊谷の長い1日が始まりました。一度下見と練習をさせていただいたこともあり、的には当たりませんでした。前回よりも落ちついてできたかなという感じです。が、発表までは半信半疑。発表ボードを恐る恐る見ると「合格」の赤いハンコが私の名前の横にみえました。正直ホットしました。

弓道は今私の生活の一部になりつつあります。諸先生、諸先輩のご指導をいただきながら、たまにはおいしいお酒にも誘っていただき楽しく、少し厳しく道場生活を送りたいと思います。よろしくお願いいたします。

初段の審査に合格して

池内健治

記録的な大雪の翌日が昇段審査の日でした。前日は一日中、降り積もる雪。審査が実施されるの心配で落ち着かない夜を過ごしました。

打って変わって、当日は晴れ。交通が心配で、始発で上尾の武道館へ向かうことにしました。途中、熊野神社でいつも稽古をしている長谷川さんたちと一緒に、審査前の不安を忘れることができました。

会場では、初心者講習と一緒に学んだ強い弓友とともに、不安な心の内を語り合ったり、体調を確認したりと、あっという間に審査の順番が回ってきて入場。ところが、覚えていた体調や射法がすっかり頭の中から霧散していて、訳の分からないまま退場していました。

これまでの稽古が全く再現できていないことに思い当たり、不安になって、同期の仲間とあれもだめ、これもだめと確認し合っていました。でも、終わったことは思い直しても「覆水盆に返らず」なので、気持ちを切り換えてペーパーテストに臨みました。

全ての審査が終わり、合否が貼り出されて、意外にも合格。大感激！思わずiPhoneで写真を撮る始末でした。久しぶりに試験を受けて初心に戻った気持ちです。目標を持ち、一步一步達成し

ていく喜びを心に刻むことができました。

お世話になった先生方、親切にアドバイスをいただいた先輩方、一緒に稽古をしてくださった同期の皆さん、本当にありがとうございました。

一生、弓道を続けていきたいと思います。弓道を始めて新しいつながりを得られたことが一番の収穫です。これからも、よろしく願いいたします。

大雪を乗り越えて

國友大裕

2月9日上尾の県立武道館 審査にて、初段に合格させて頂きました。渡邊先生、諸先生方、先輩の皆様へ、日頃の親身なご指導に対し、この場を借りてあらためてお礼申し上げます。

審査当日は、大雪の障害を越えて人生初の「段」を手にする思い出深い一日となりました。深雪に足を滑らせながら駅へ向かい、ダイヤが大きく乱れたJRやバスを乗り継いで、なんとか受付時間に間に合いました。前日に週一回の稽古が雪で流れ、準備不足で不安が増幅するところでしたが、「自分は壹級だ！場数が1つ多い」とやや無理のある暗示で平常心を取り戻す努力をしました。自虐ネタとして使っていた「壹級」を、順番待ちの間に前向きな言葉に昇華させた思いです。それでも入場と同時にアタマの中は真っ白となり、積もった雪の反射光で視界も白く、二重にホワイトアウトした状態で行射して気付いたら退場しておりました。平常心で審査に臨めるような域に達するのは何十年先でしょうか？

弓道を始めて約一年、新しいことを学び少しずつでも上達する喜びに浸っております。また、初心者であることを盾に、「知りません」「教えてください」と先生方に甘えられる心地良さもたまりません。これからも永く、楽しい弓道の時間を大切にしていきたいと思います。先生、先輩の皆様には、ご指導ご鞭撻の程どうかよろしくお願い申し上げます。

初段合格

松村峰裕

先日初段に無事合格することができました。指導いただいた先生、皆様方に感謝いたします。

審査前日には大雪に見舞われ本当に審査が行われるのかと思うほどで、前日練習できないまま審査に臨みました。大雪の翌日わざわざ来たのに落ちては苦勞した甲斐がないと思い、とにかく堂々と自信を持ってやろうと心がけました。

立順は大前で二射場あったため隣の射場と自分の射場の弦音を聞きわけながら進めなければなりませんでしたが、かえって自分のペースでできたことも幸いし、大きなミスもなく進行できました。矢は的中しなかったものの的の近くに刺さり退場もうまくできました。しかしこの後筆記試験において、筆記用具を忘れるという致命的なミスを行いましたが無事先輩にお借りし受験することができました。

結果発表の時自分の名前に合の文字があった時はとてもうれしかったです。今後は三段合格を次の目標に据えて練習に励みたいと思いますので皆様よろしく願いいたします。

∞ 会長月誌 ∞**11月16日**

埼玉県弓道連盟理事会
・26年度事業計画等

11月17日

第2回所沢市市武道館武道祭実行委員会
・役員、演武内容等の確認

11月20日

所沢シティマラソン実行委員会
・計画、予算等、参加予定者8,073名

11月21日

故鈴木欣三様告別式

12月 7日

小澤先生旭日双光章叙勲受賞祝賀会(西部支部からの派遣で出席、甲斐西部支部理事長も同行)

12月 8日

所沢シティマラソン大会総務部役員協力

12月14日

地元関係先年末挨拶(飯島理事長同行)

12月18日

三道大会反省会(上橋競技部長同行)
体育協会役員会

12月21日

武道館利用団体調整会議(西部支部甲斐理事長、所沢飯島理事長同行)

1月14日

スポーツ振興課

・武道祭案内の記者クラブへの投げ込み依頼

1月25日

第3回武道祭実行委員会(上橋・石川同行)

・役員表確認、演武内容確認、前日準備等

2月 3日

体育協会競技団体部会・理事会

・体育協会賞の選考

2月 5日

シティマラソン実行委員会総務部会

2月10日

シティマラソン実行委員会

2月10日

県IT委員会

3月 1日

県連総務委員会

・会員名簿の作成に付いて

3月 1日

スポーツ大賞、体協賞表彰式(県連総務委員会出席のため欠席)

3月23日

所弓連総会・懇親会

3月26日

体協広報委員会

∞ 編集後記 ∞

総会でも紹介されましたが、去る2月～3月にかけて、市弓道場施設利用者アンケートが実施されました。

このアンケートは、市弓道場の指定管理者として義務付けられているものですが、今回はアンケート用紙を道場に留め置きでなく、総会案内に同封したこともあって、最終的にこれまでの倍以上の106通の回答を頂きました。

質問は従来より項目を増やし、より具体的な内容で意見をお聞きしましたが、施設の管理・運営の状況につき、「満足」、「概ね満足」の合計が約98%と、またコメントも肯定的意見が共に従来より増加傾向にあります。皆さまのご協力に感謝致します。

一方で、建物の老朽化に関連する件、トイレ掃除が女子のみの負担になっているなどの不満を指摘するコメントもありましたが、ご承知のように市弓道場は所弓連が指定管理者として市より委託を受け、連盟の

「会員全員」が「管理者」として運営している施設であり、道場内の清掃のほか、建物の営繕、防矢板・ネットの補修、塚の整備・砂の入替えなど男子主体の作業もあり、ここは会員全員がお互い協力し合い、よりよい施設となるよう、皆様の自覚と協力を改めてお願いしたいと思います。

編集委員

飯島稔凱 甲斐久歳 小林康則
山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便第13号

発行日 平成26年5月15日

発行者 所沢市弓道連盟
会長 新家 透